



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和8年度第2号



経験が人を成長させる～1学期を終えて～

4月に新しい学年がスタートしてから約4か月。それぞれが新しい目標を胸にスタートし、学習や学校行事、部活動など様々な場面で努力を重ねてきました。この1学期、生徒の皆さんが見せてくれた成長の姿を大変うれしく思っています。

1年生は、中学校生活に慣れるだけでも大変だったと思います。そのような中で実施した校外学習では、「人と防災未来センター」を訪れ、防災について学びました。阪神・淡路大震災の被害や復興の歩みを知り、災害の恐ろしさだけでなく、人と人が支え合うことの大切さについて考える機会となりました。私たちが暮らす地域においても、防災への備えは決して他人事ではありません。学んだことを日常生活の中でも生かしてほしいと思います。

2年生は地域の事業所で職場体験学習を行いました。学校を離れ、実際の職場で働く方々に関わることで、仕事のやりがいや責任、社会の一員として働くことの意義を学ぶことができました。受け入れてくださった事業所の方々からは、「真面目によく頑張っていた」「挨拶がしっかりできていた」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。地域の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

3年生は東京方面への修学旅行を実施しました。日本の政治や文化の中心である首都東京で、多くのものに触れ、見聞を広げました。仲間と寝食を共にしながら協力して活動する中で、集団の一員としての責任感や判断力を高めることができました。また、仲間との時間は中学校生活の大切な思い出になったことでしょう。3年生の落ち着いた行動や協力する姿からは、最高学年としての成長を強く感じました。

さらに、生徒会活動においては、生徒総会が行われました。学校をより良くするために、一人一人が学校生活について考え、意見を出し合う姿が見られました。学校は誰かにつくってもらうものではなく、自分たちの手により良いものにしていくものです。生徒総会を通して、その意識が高まったことをうれしく思います。

各種大会やコンクールでは素晴らしい成果を収めた人もいれば、惜しくも結果につながらなかった人もいたと思います。しかし、大切なのは結果だけではありません。目標に向かって仲間と励まし合いながら努力を続けた過程そのものが、皆さんを大きく成長させてくれたはずです。最後まであきらめず挑戦する姿は、本校の誇りです。

このように振り返ると、1学期は多くの学びと成長の機会に恵まれた学期だったことがわかります。しかし、一方で自分自身の課題も見つかったのではないのでしょうか。勉強でも部活動でも人間関係でも、「もっとこうしたい」「ここを改善したい」と思うことがあったはずです。その気づきこそが成長の第一歩です。

明日から始まる夏休みは、自分自身をさらに成長させる大切な時間です。ぜひ目標を持ち、計画的に過ごしてください。また、家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、安全で充実した毎日を送ってほしいと思います。

2学期には体育大会など、大きな行事が待っています。皆さん一人一人の力が集まることで、学校はさらに素晴らしいものになるはずです。

最後に、羽生結弦さん(フィギュアスケート選手)は、「努力はうそをつく。でも無駄にはならない。」という言葉を残しています。

私たちは、「頑張れば必ず結果が出る」と思いがちです。しかし現実には、一生懸命勉強したのに思うような点数が取れなかったり、毎日練習したのに試合で勝てなかったりすることがあります。その意味では、努力は時に私たちの期待を裏切ることがあります。

しかし、その努力によって身に付いた力や経験、自信は決してなくなりません。結果はすぐに表れなくても、その努力は必ず次の挑戦につながります。

この1学期のすべての経験は、皆さんの成長の糧になっています。どうかこの夏休みも努力を続け、自分を磨き、2学期にはさらに成長した姿を見せてくれることを期待しています。